



廃棄物系燃料のCFBベンチ炉燃焼試験

お客様の廃棄物系燃料について、CFBベンチ炉による燃焼試験を実施し評価いたします。

CFBベンチ炉燃焼試験

● CFBとは

CFB(Circulating fluidized bed)は、燃料粒子を燃焼空気によって流動化する流動層燃焼の一種で、火炉の出口に飛散粒子の捕集循環回路を設けています(図参照)。この方式は、(1) 燃料適合性が高い、(2) 環境負荷が低い(比較的低い燃焼温度(800 ~ 950℃)でNOx排出抑制)、(3) 低空気比燃焼が可能、(4) 設備の経済性が高い、という特長を有しています。

● 試験対象

RPF(Refuse derived paper and plastics densified fuel: 古紙および廃プラ固形燃料)、TDF(Tire derived fuel: タイヤ由来燃料)等の廃棄物系燃料をはじめ、低品位炭および各種バイオマス等の多様な燃料の燃焼に適した燃焼炉です。

※これ以外の材料についてもお気軽にご相談下さい。

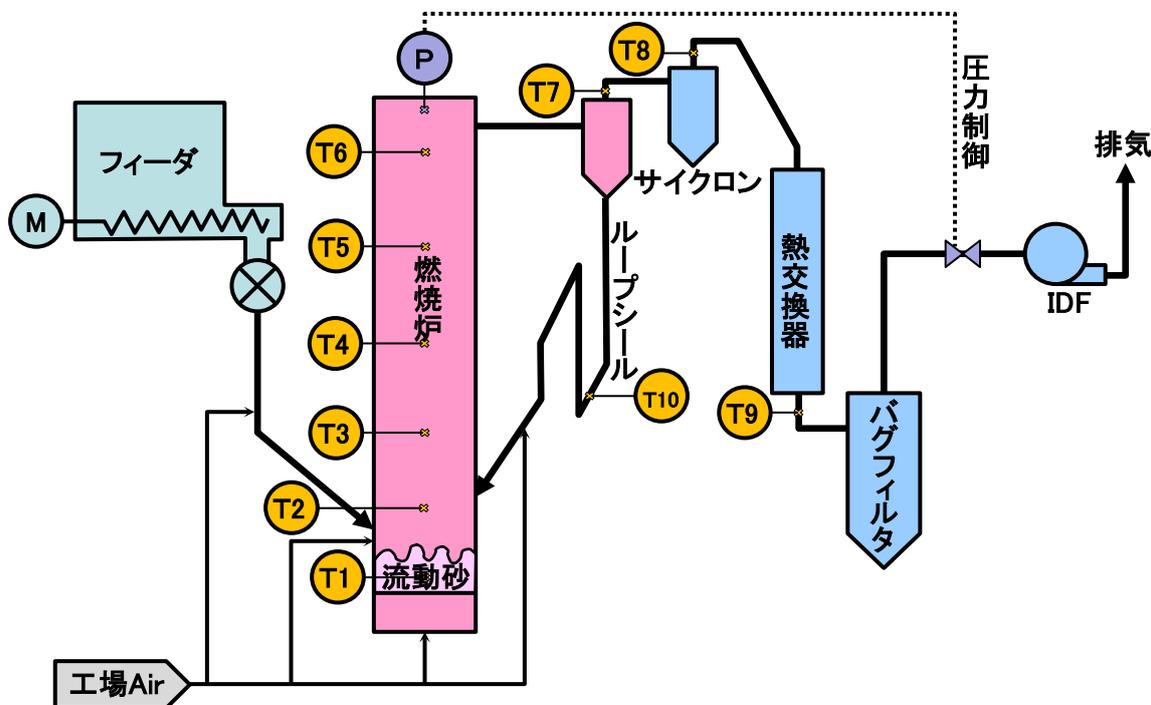
CFBベンチ炉を用いた試験内容

● 試験条件

項目	条件
燃焼炉内径、高さ	100mm φ、3000mm
燃焼炉放熱補償	電气管状炉にて加熱・保温
流動砂	珪砂等(平均粒径400μm)
燃焼温度	800~950℃

● 測定項目

測定項目	測定箇所、種類等
炉内温度	炉内温度分布測定(10点)
重量測定	供給物、回収物、炉内残留物等
排ガス連続分析	O ₂ 、CO、CO ₂ 、NO _x 、SO _x
差圧測定	炉底および炉頂の差圧



CFBベンチ炉概略フロー図



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。